

# ASAZOOクイズラリー

くわ とうぶつ し  
詳しく動物を知ろう!

レベル. 2

もんだい どうぶつ まえ かんばん お  
問題にでてくる動物の前に看板が置いてあります。

よ こと せいがい  
しっかり読んで、クイズに答えてね。正解に○をしてください。

問1 フラミンゴが野生で食べているものはなに？

プランクトン ・ 貝

問2 夜になるとチンパンジーはどこで寝る？

き うえ どうくつ なか  
木の上 ・ 洞窟の中

問3 アルマジロトカゲが敵に襲われたとき、隠れる場所がないとどうする？

からだを丸める ・ いやなにおいをだす

問4 ライオン、アムールトラ、アムールヒョウについて、正しいのは次の内どれ？

- ① ライオンとアムールトラは群れを作り、アムールヒョウは単独生活
- ② ライオンとアムールヒョウは単独生活、アムールトラは群れを作る
- ③ ライオンは群れを作り、アムールトラとアムールヒョウは単独生活

問5 最近の研究で、ハヤブサはどの仲間に近いことが分かった？

- ① インコ
- ② タカ
- ③ フクロウ

こと どうぶつえん でぐち えんぴつ ひと かい  
答えは動物園の出口にあるよ。鉛筆をかりた人はそこで返してね。

# こた かいせつ 答えと解説

※↓の図は各動物舎に設置している看板です。

## 答1 プラクトン

フラミンゴのくちばしは、首を曲げて頭を水面まで下げた時に水面と水平になるように曲がっています。このことで水中の小さなプラクトンを含む水を効率よくくちばしの中に入れることができ、くちばしのふちについている櫛状の「ラメラ」という構造でこしとって食べています。

## フラミンゴ類

分類：フラミンゴ目 フラミンゴ科

アメリカ、アフリカ、ヨーロッパ、インドの熱帯から温帯に計5種が生息するが、ここではチリーフラミンゴ、オオフラミンゴ、ヘニロフラミンゴ、コフラミンゴを展示している。浅い塩水湖などに大きな集団で生活し、ケイ藻、ラン藻、動物プランクトン等をラメラと呼ばれるくしのような構造のくちばしでこして食べる。美しいピンクの体色は、食べ物に含まれる色素によって現れる。水辺に密集して泥を固めた球状の巣を作り、通常1個を産卵する。子育ては、そのう(食道の一部が膨らんだ消化器官)から分泌されるフラミンゴミルクを、ひなに口移しで与えている。

## 答2 木の上

野生のチンパンジーは、夜寝るときに木の上で寝ますが、毎日寝る前に周囲の木の枝で自分だけの寝床を作ります。危険の多い地上よりも、木の上のほうがより安心して眠ることができます。

## チンパンジー

Common Chimpanzee

分類：霊長目 ヒト科

学名：Pan troglodytes

アフリカ中部の熱帯雨林から乾燥したサバンナ周辺の森林に生息している。主に日中活動し、夜は樹上に寝床をつくって休む。複数の雄と複数の雌からなる群れでくらす。雄は群れに一生とどまるが、成長した雌は群れから出て行く父系社会である。主に果物や木の葉を食べる。石で硬い実を割ったり、木の枝でシロアリを釣ったりと道具を使う。この行動は地域によって異なっており文化的行動である。

## 答3 からだを丸める

哺乳類のアルマジロは体を丸めて硬い背中中で敵からの攻撃をガードします。はちゅう類のアルマジロトカゲも同じような行動で身を守るので、その名が付けました。おなかの柔らかい部分を守るという効果もあります。

**生態 biology**  
岩の多い砂漠や荒地に生息する。外敵が近づく、自分の尾を噛んでアルマジロのように丸くなって身を守る。



胎生 viviparous 全長 150 ~ 200 mm

**食性 feeding habits**  
昆虫 クモ

**分布 distribution**  
Least Concern LC 南アフリカ共和国 Republic of South Africa

## 答4 ③

アムールトラやアムールヒョウなどの多くネコ科動物は単独生活をしています。ライオンは1~2頭の雄と、数頭の雌、子からなるプライドと呼ばれる群れで生活しています。

## ライオン

Lion

分類：食肉目 ネコ科

学名：Panthera leo

北部を除くアフリカのほぼ全域と、インドの一部に少数が生息している。単独生活をする他のネコ科と違い、1~2頭の雄と、数頭の雌、子からなるプライドと呼ばれる群で生活している。3歳でおとなになる。妊娠期間は105日程度で1~5頭の子を産む。

## 答5 ① インコ

ハヤブサはハヤブサ科に属し、その見た目からタカやコンドルに近いと思われていましたが、最近の研究でインコやスズメの仲間に近いということが分かりました。

## ハヤブサ

Peregrine Falcon

分類：ハヤブサ目 ハヤブサ科

学名：Falco peregrinus

南極を除く全世界に分布し、河川、湖沼、海岸などに広く生息する。主に体重1.8kg以下の鳥類を獲物とし、飛行しながら後肢で捕える。急降下時の速度は時速290kmを超える。産卵は断崖のくぼみなどで行うが、近年では都会の高層ビルなどで営巣することもある。日本では3~4月に3~4個の卵を産む。主に雌が抱卵し、29~32日でふ化し、ふ化後35~42日で巣立つ。以前はタカ目とされていたが、最近の研究ではタカ目ではなくインコ目やスズメ目に近い独立したハヤブサ目に分類されている。